

2段階認証のリリースに関するご案内

2020 年 04 月 14 日 株式会社 Fleekdrive

目次

1	はじ	めに	3
2	現行	仕様との変更点	4
3	2 段	階認証の設定方法	6
3	3.1	2 段階認証を「利用する」に設定する	6
3	3.2	2 段階認証適用後のログイン方法	7
3	3.3	携帯電話に SMS で通知する場合	8
3	3.4	メールで通知する場合	9
3	3.5	端末を信頼済みに登録する	10
4	認証	失敗時のログイン方法	11
4	.1	バックアップコードで認証する	11
4	.2	管理者が設定をリセットする	12
5	注意	事項	13

1 はじめに

本書は、2020 年 6 月 13 日の Fleekdrive のメジャーバージョンアップ (Ver3.0.0) でリリースされる 「2 段階認証」に関するご案内となります。

昨今、第三者が利用者の ID やパスワードを不正に入手し、Web サービスにログインを試みる事例が 頻発しております。

現在 Fleekdrive では、複数回パスワードを間違えるとアカウントをロックする機能や、接続可能な IP アドレスを制限する機能など、様々な機能で不正ログインに対応しています。

しかしながら、利用者自らが行うセキュリティ対策については、十分にフォローされているとは言えない 状況でした。

そのため、よりセキュアな環境で Fleekdrive をご利用いただくために、2020 年 6 月 13 日のメジャーバージョンアップにて、新たに SMS やメールにて認証コードを通知する、2 段階認証によるログイン方法をリリースいたします。

新しい認証方法では、パスワード(本人のみが知りえる知識要素)および、認証コード(本人が所持しているデバイスやアカウントに対して送られる所持要素)の 2 要素での認証となるため、今までのログイン方法より安全性が大幅に強化されます。

また、上記 2 段階認証のリリースに伴い、パスワードリセット時の秘密の質問/回答が廃止され、 ユーザ ID の入力のみでパスワードリセットが可能になります。

そのため、必要に応じて 2 段階認証を利用し、セキュリティ強化を行っていただくよう、お願い申し上げます。

2 現行仕様との変更点

1. ログイン時

現行の仕様では、ユーザ ID とパスワードでのログイン認証のみでした。

2 段階認証を「利用する」に設定した組織では、設定変更後の初回ログイン時に以下の画面が表示され、2 段階認証の設定を求められるようになります。

図 2-1



2. パスワードリセット時

現行の仕様では、パスワードを失念してしまった際に、秘密の質問と回答を入力し、その組み合わせが合致していれば、利用者自身でパスワードのリセットを行うことができました。

図 2-2 現行のパスワードリセット画面



2020年4月25日リリース以降は、ユーザIDの入力のみでパスワードをリセットできます。

図 2-3 メジャーバージョンアップ後のパスワードリセット画面



2段階認証を利用される際の、実際の設定手順については、次章をご覧ください。

3 2段階認証の設定方法

3.1 2段階認証を「利用する」に設定する

Fleekdrive の設定>セキュリティ設定>2 段階認証 を開きます。

図 3-1



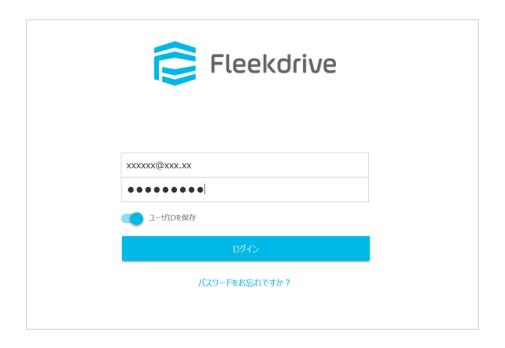
デフォルトでは2段階認証は[利用しない]になっているため、画面右下の[編集]をクリックし、[2段階認証の利用]を[利用する]に変更し、画面右下の[OK]をクリックします。 ※すべてのユーザに適用されます。



3.2 2 段階認証適用後のログイン方法

ユーザ ID とパスワードを入力し、Fleekdrive にログインする。

図 3-3



2 段階認証の設定を求められるため、認証コードを送信する宛先を選択します。 携帯電話に SMS で通知する場合→3.3 へ進んでください。

メールで通知する場合→3.4 へ進んでください。

※SMS が優先となります。



3.3 携帯電話に SMS で通知する場合

通知先の電話番号を入力し、[次へ]をクリックすると認証コードが発行されるため、 SMS にて通知された認証コードを入力し、[OK]をクリックします。

図 3-5





3.4 メールで通知する場合

[SMS が利用できない場合、メールで設定]をクリックし、続けて[次へ]をクリックすると、Fleekdrive に登録されているメールアドレス宛に認証コードが発行されるため、通知された認証コードを入力し[OK]をクリックします。

図 3-7



図 3-8



認証コードの有効期間は発行から3分となります。期限切れの場合は再送信してください。 もし、認証コードの入力誤りが複数回発生した場合、ロックがかかりますのでご注意ください。 なお、ロックがかかるまでの失敗回数及びロック時間は、パスワードポリシーに準じます。

3.5 端末を信頼済みに登録する

端末を「信頼する端末」として登録することで、ログイン時の 2 段階認証をスキップすることができます。

2度目のログイン時に[この端末を信頼する端末として登録する]をチェックしてください。

図 3-9



信頼する端末に登録すると、[私の情報]から確認することができます。 信頼する端末を削除した場合、再度認証コードを求められるようになります。



4 認証失敗時のログイン方法

4.1 バックアップコードで認証する

認証コードを受け取れない等、認証に失敗する場合は、事前に[私の情報]より確認した認証コードで、 認証することも可能です。

バックアップコードは1度使用すると自動的に変更されます。

図 4-1



図 4-2



4.2 管理者が設定をリセットする

Fleekdrive の設定>ユーザ管理>ユーザ管理にて、設定をリセットしたいユーザを選択し、2 段階認証のリセットをクリックすることで、リセットできます。

リセットされたユーザは、2段階認証の設定を最初から実施してください。

図 4-3



5 注意事項

- 2 段階認証は、テナント全体で 1 つの設定となります。そのため、ユーザごとに 2 段階認証を利用 する・利用しないを設定することはできません。
- Fleekdrive 及び Fleekdrive モバイルからのログインに適用されます。
 シングルサインオン利用組織、Salesforce からのご利用、API でのログインには適用されません。
- 一度、2 段階認証を[利用する]に設定した後、[利用しない]に変更した場合、保存されている設定は全て消去されます。その後、再度[利用する]に変更した場合も全ユーザで再設定が必要となります。